

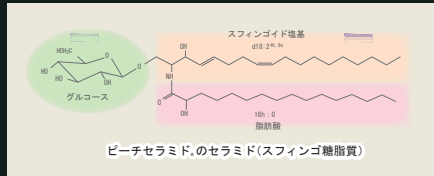


国産桃由来ピーチセラミド[®](※)を1%含有する 化粧品向け水溶性製剤

桃セラミド水

表示名称 [※]	フィトステリルグルコシド、グルコシルセラミド
INCI	Phytosteryl Glucoside/Glucosylceramide
CAS No.	1623405-25-3 (Ceramides, peach)

桃から生まれたピーチセラミドは肌のバリア機能を高める有用な機能性素材です。

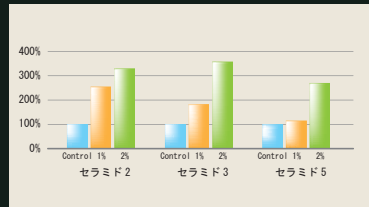


原料桃の原産地



ピーチセラミド[®]は全て山梨県、長野県産の桃を原料として使用しています。両県は、日本のほぼ中央に位置し、南アルプスを背にした自然豊かで風光明媚な土地柄で、桃の生産量は山梨県が第1位、長野県は第3位です。

ピーチセラミド[®]のセラミド(スフィンゴ糖脂質)は、皮膚中に含まれるセラミドの産生増加作用があることがわかりました。



ピーチセラミド[®]をヒト三次元培養皮膚に適用したのちに、皮膚中のセラミド2、セラミド3、セラミド5について定量し比較したところ、コントロールに比べて顕著にセラミドを増加させる効果が認められ、皮膚の保湿効果・バリア機能を増加させることが示唆されました (JP5932366)。

細胞増殖に必要な代謝活動を誘発し、細胞の増幅を促す細胞増殖因子

植物由来EGF- Uni

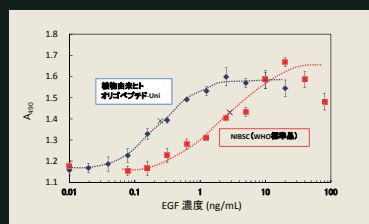
製造工程において、動物由来の成分を使用していません。したがって、人獣共通感染症の原因となる病原因子が製品に混入する可能性は、ほとんどありません。EGFを含む細胞増殖因子は、生体内で機能を発揮するために、タンパク質の特定の構造が必要です。従来の微生物(例:大腸菌)で作られたEGFは、活性をもたないタンパク質も含まれます。一方、植物で作られたEGFは、活性ある特定の構造をもっています。



製品規格 (10mL/バイアル、保存条件2~8℃)

項目	規格値	分析方法
色及び性状	無色~淡黄色の透明な液体	目視
濃度(ペプチド)	0.5~0.6mg/mL	ELISA法
蛋白質濃度(ペプチド比)	90~110%	吸光度法(280nm)
純度	≥95%	電気泳動法
力価(生物活性)	≥3.00×10 ⁶ IU/mg	MTT法
pH	7.0~8.0	pHメーター
一般生菌数	≤100 個/mL	普通寒天平板培養法

力価測定結果



WHOが提供するEGF標準品と比較し、植物由来EGF- Uniは力価(生物活性)が非常に高いことが実証されています。